

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成27年3月12日(2015.3.12)

【公表番号】特表2014-518841(P2014-518841A)

【公表日】平成26年8月7日(2014.8.7)

【年通号数】公開・登録公報2014-042

【出願番号】特願2013-555576(P2013-555576)

【国際特許分類】

A 6 1 K	39/00	(2006.01)
A 6 1 K	39/39	(2006.01)
A 6 1 K	9/127	(2006.01)
A 6 1 K	47/24	(2006.01)
A 6 1 K	47/28	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	35/02	(2006.01)
A 6 1 P	37/04	(2006.01)
A 6 1 K	31/675	(2006.01)
A 6 1 K	31/506	(2006.01)
A 6 1 K	39/395	(2006.01)
C 0 7 K	14/705	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	39/00	G
A 6 1 K	39/39	
A 6 1 K	9/127	
A 6 1 K	47/24	
A 6 1 K	47/28	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	35/02	
A 6 1 P	37/04	
A 6 1 K	31/675	
A 6 1 K	31/506	
A 6 1 K	39/395	N
C 0 7 K	14/705	Z N A

【手続補正書】

【提出日】平成27年1月23日(2015.1.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

リポソームワクチン製剤であって、

該リポソームワクチン製剤は、以下(a)乃至(c):

(a)以下の構造のグリコリポペチド:

H₂N-T S A P D T (Tn) R P A P G S (Tn) T (Tn) A P P A H G V T S A P
D T (Tn) R P A P G S (Tn) T (Tn) A P P A H G V S * S * L - O H (配列番
号2)であって、

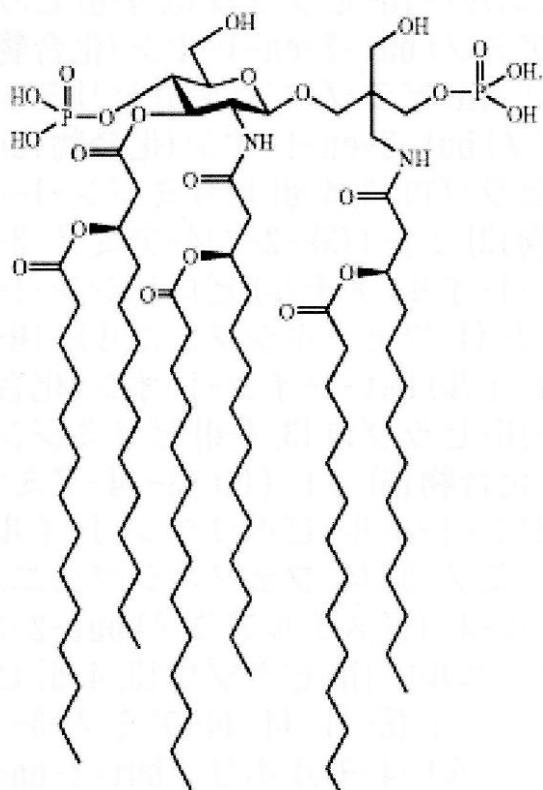
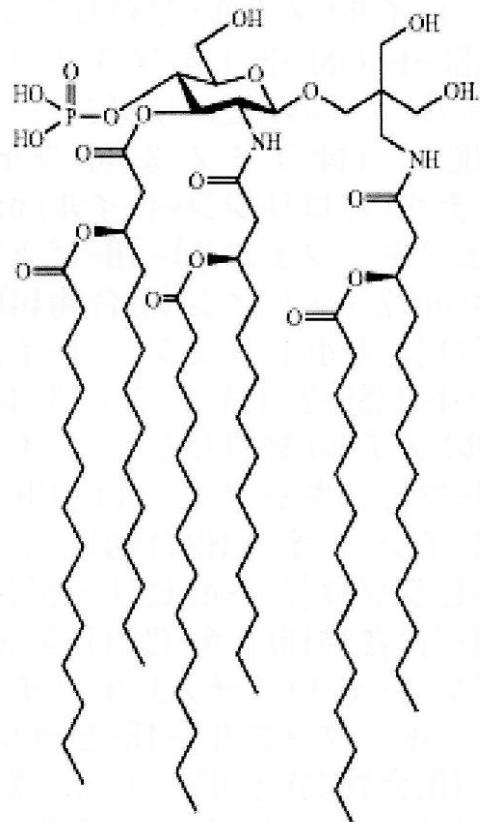
ここで、

T_nは独立して、各発生時に、セリン残基またはトレオニン残基に共有結合的に付着した-N-アセチルガラクトサミン(GalNAc 1)を表し；及び、

*は独立して、各発生時に、セリン残基に共有結合的に付着したC14脂質を表す、グリコリポペプチド、

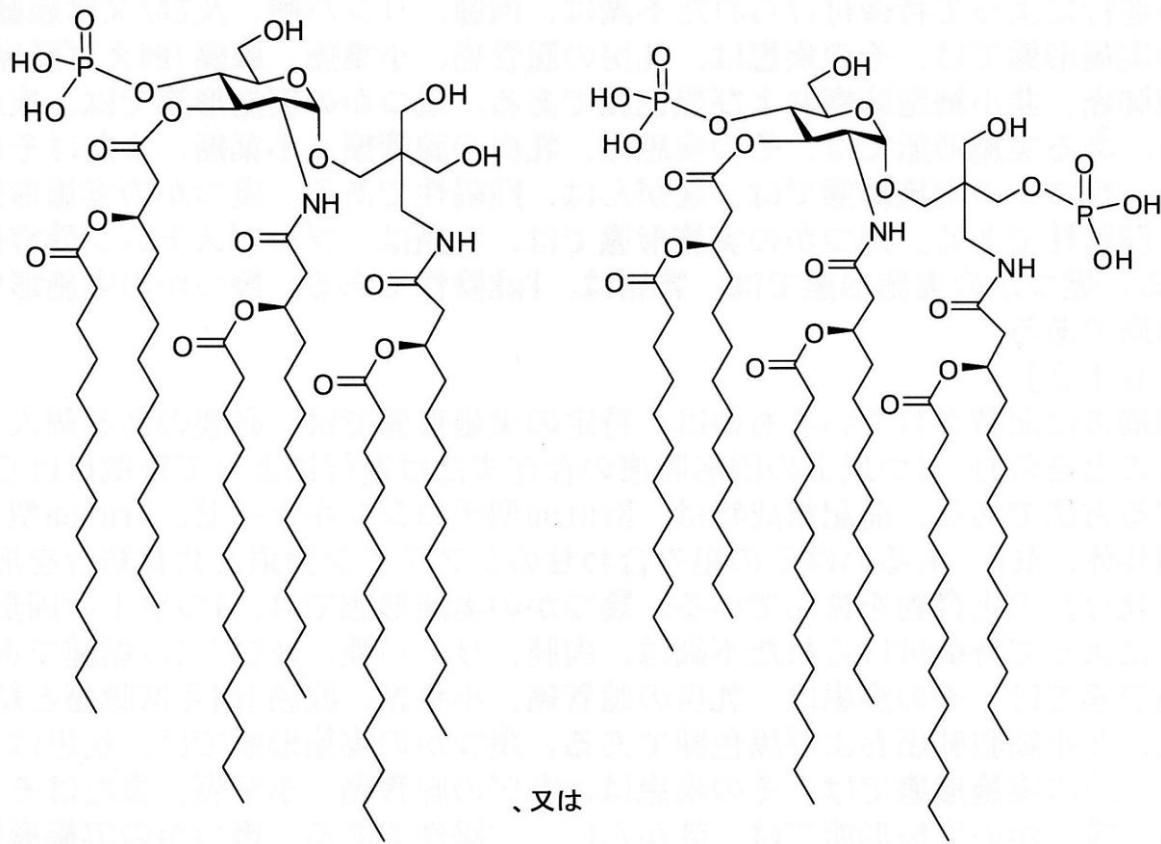
(b)以下の構造のアジュバント：

【化1】



,

【化2】

又はその薬学的に許容可能な塩；および、(c) 担体脂質を含む、リポソームワクチン製剤。

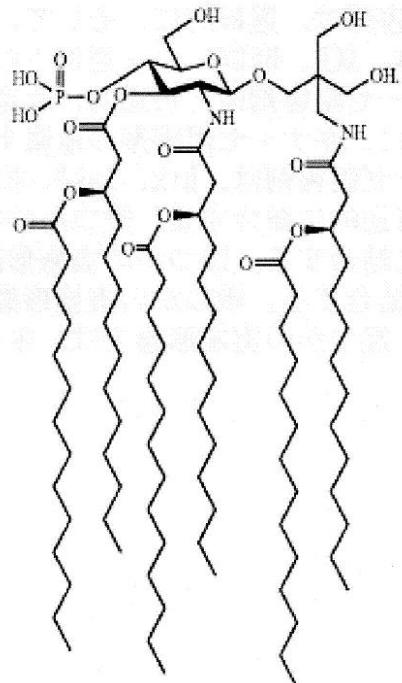
【請求項2】

C14脂質はミリストイル鎖である、請求項1に記載のリポソームワクチン製剤。

【請求項3】

アジュバントは、以下の式、またはその薬学的に許容可能な塩である、請求項1に記載のリポソームワクチン製剤。

【化3】



【請求項4】

アジュバントは薬学的に許容可能なトリエチルアミン塩である、請求項3に記載のリポソームワクチン製剤。

【請求項5】

担体脂質は、DMPG、DPPC、又はそれらの薬学的に許容可能な塩、或いはそれらの組み合わせから選択される、請求項1に記載のリポソームワクチン製剤。

【請求項6】

コレステロールをさらに含む、請求項1に記載のリポソームワクチン製剤。

【請求項7】

リポソームワクチン製剤は凍結乾燥している、請求項1に記載のリポソームワクチン製剤。

【請求項8】

リポソームワクチン製剤は凍結乾燥され、さらに、再構成される、請求項1に記載のリポソームワクチン製剤。